

通信

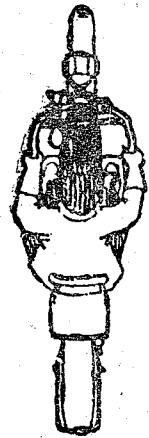
◎東京だより

肅啓、天候順ならず、梅雨期を経過致候得共、一向夏

らしき日は無之浴衣の上に袷羽織と言ふ状態にして、不幸、米作の不況等を觀ば一層我が經濟界を攪亂し、米價の騰貴と失業者の頻出を誘致し、由々敷大事を惹起するやも難計、天の爲すがまゝに爲さざるべからざる吾人は、せめて之に對し適應の措置を豫め講ずるの必要有之候へ共爲政者も國民も其の日暮しの生活に日も尙足らざるが

如き感あるは遺憾の至に不堪候

天候此の如きも早や七月に入り例に依つて來るべき十六年度に於ける政府の新計畫を樹立する時期と相成、政府も政治家も最も緊張すべきときに有之、立案の任に當るべき各省はさて多忙を極め居候こと、存じ、一日の閑餘を得て主要内政を管掌する内務省を訪問致候處、何れの局課も緊張したる氣配更に無之吾人をして意外に感ぜ



田 中 生

しめ申候、綱紀を肅正し事務の能率を増進することを以て主要政綱とする現内閣の下に於て、惰れ氣味の執務は如何なる原因に胚胎するものなるや怪訝に不堪、某大官の意見を徴し候處、執務に怠惰するには非ざるも消極政策を實行する内閣の下に於ては、折角新事業を計畫するも之には必ず費用を伴ふものなるを以て、財政緊縮の爲に其の事業の執行を抑制せられ、爲に何れも新事業の調査研究に手を觸れず、所謂普通の常務に盡しつゝあるものにして一見情氣充滿の嫌あるも實は然らずとの意見に有之候、時運の進展に伴ひ政府の爲さざるべからざる幾多の事業が前途に横たはり、之を爲すことに依つて國利民福を増進すべきに拘はらず、尙之を捨て、鑑るなき政治に至つては惰性的のやり方と可申、沈滞せる此空氣を一掃するが爲に積極的政策を實現するの極めて必要なる義と被存、若し之をしも爲さずして惰力に依る政治を繼續する候は、思ひ切つて冗員の整理を斷行するの必

要可有之候、或者は財政緊縮を必要とする現今に於ては、將來財政に餘裕を生じたる場合に於て執行すべき事業を調査研究するの必要あるを以て、今は其の調査に盡すべきときなりと申居候、固より此方針惡しきに非ざるも日進月歩の現今に於て四五年先の事業を調査研究するときは事實と計畫との齟齬を生じ遂に調査は反古と可相成、之が調査研究に熱を持ち得ざるは當然にして情氣滿々の執務もさこそと被察候。

唯だ土木局に於ては京濱運河の開鑿と東京築港と吾人が曾て唱導して已まざりし自動車道路改良事業を計畫し新年度の豫算を要求したるやにて聊か活氣附き居候、京濱運河の開鑿は既に久しき以前より唱導せられ市都復興事業として計畫されたることも有之候得共、未だ實現の運に至らざるものに有之、對外貿易を掌る横濱港と内國貿易を目的とする東京港を聯絡せしめ兩港共存共榮の實を擧げ、之に依りて東京市民の負擔すべき運賃の低廉を

期し、運河掘鑿に依る餘土を利用して百萬坪の海面埋立を爲し、運河沿線土地をして工業地帯ならしめむとする計畫にして、其の利のある所、贅言を要せざる事業に有之候。

東京築港の計畫は現在の東京港に於ける航路を巾八十間、水深を二十二尺に、船溜を百十三萬坪に擴張して五千噸級汽船の出入に便し、千噸乃至四千噸級船舶は潮時を待たず隨時出入せしむるの計畫に有之、尙此工事より得べき掘鑿土砂を以て約七十八萬坪の埋立地を築造し是等工事に要する費用千八百十六萬二千圓に對し國庫は大正十五年度以降七ヶ年間に六百四十三萬六千圓を補助せむとするものに有之候。

自動車道路改良事業の内容は絶対に祕密に附せられ居候へ共、新聞紙の報ずる所に依れば全國に於ける主要府縣道中道路交通に於て自動車の有する經濟的價値を最も有効に發揮することを得るものと認めらるゝ路線を選擇

し、之が改良に對し國庫は工事費の三分一を補助する方針に有之、選擇されたる路線延長二千里此改良費一億六千萬圓に對し五千三百萬圓を十年間に補助する計畫の趣に有之候、近時自動車の交通上に於ける効果は社會一般の自覺する所と相成、舊時の如く富豪の獨占物なるが如き狀態を脱し鐵道停車場に自動車の影を觀ざる所なきまでに普及されたるも、之が利用すべき道路劣悪なるが爲に、折角の車輛も其の能率を發揮することを得ずして當然得べき利益も得る能はざるは世人の齊しく遺憾とする所に有之候得共、道路改良の爲には巨額の費用を要し俄に之が實現を期することを得ざるを以て其の利を知りつとも尙現狀に甘ずる狀況に有之候、併しながら此事業を施行することは結局國庫の利益を増加することに歸するを以て之に對し國庫より補助するは事業の性質上當然に有之、土木主任官會議の意見も亦同一にして國家の助成義務の存する所明かに御座候。

以上の如く自動車道路改良事業の齎す効果は多大なるのみならず、漸く發達せむとする自動車の普及を速ならしむる反映的效果を有し、時運に適應したる事業として世評悉く之に賛成し、某紙の如き之が爲には何物を犠牲とするも之を實現するの必要を極言致居候位に御座候、從て此案を握り潰すか又は達成せしむるかは現内閣の運命を下すものと言ふも過言に無之、殊に聲明せられたる鐵道敷設計畫が財政の緊縮に依り繰延を餘義なくしたるに、今又圖らざる鐵道收入の減少に依りて一層計畫實現の困難を訴ふるに至りたるを以て、何とかして之に代るべき施設を爲さざるべからざる今日、本事業を遂行することは現内閣に採りて無二の新政策と言ふべく、加之財政緊縮の爲に地方公共團體の事業まで打切り又は繰延を爲さしめたる結果、測らざる多數の失業者を頻出し、是等を何とかの方法に依り救濟せざるべからざる責務を有するを以て、今此事業を施行することに依りて政府の

責任を緩和すると同時に、國民生活に叙上の利益を與ふること、爲り一舉にして數得を遂ぐる可相成候間此點に付閣僚諸氏の熟慮を希望して已まざる次第に御座候、或は財源乏しきを理由として本事業に反對するものも可有之と存候へ共、大正十三年度決算に於て一億七千萬圓の剩餘金を得たる政府にして、僅少の經費を以てする本事業の施行を認めざるが如きことあらば、國民生活を無視する内閣と言はるゝも辯解の辭無之ことと存候、自動車道路に關係を有せざる既定の道路改良費に就いては、五百十一萬圓を計上して要求したる趣に有之候、本年度本豫算の要求に方りては當時御報道申上候通り、全部削減の査定意見に對し本會が極力其の維持に力め、漸くにして三百五十萬圓の豫算を存するに至りしも、本年は昨年の方れと異り、財政當局は本年度以降毎年三百五十萬圓の支出を豫想し、財政計畫を樹立したる趣なるを以て十六年度豫算の審議に就いては三百五十萬圓を超過

する百六十一萬圓の増加を是認するや否やの範圍に局限せられ居候に付、既に補助契約を爲したるものに對しては當然補助せらるべく増加額の容れられざる場合に於ては新規補助を爲す能はざるに過ぎず候へ共、當局の談ずる所に依れば増加要求に付ては適切なる理由存する趣に付、是亦餘り懸念の要無之樂觀致居候、從て地方が財政緊縮なる言葉に怖へて確信もなく事業を繰延又は廢止するが如きこと無き様致度ものに御座候。

這般の土木主任官會議に於て建議されたる技術官優遇に關することも、内務省議としては大體に認容せられ、現行制度に於て技術官を任用する場合は、文官任用令の規定に依り高等官に在りては高等試験委員判任官に在りては普通試験委員の證衡を経て任用するの制度なるも、之を改め一定の資格を定め其の資格ある者は證衡を経ることなくして任用するの制と爲し、其の資格なき者を技術家として任用する場合の證衡には、技術に關する學識

經驗ある試験委員を加へて、其の衝に當らしむるべきことを行政調査會に對し要求せられたるやに聞及候、之にて主任官會議が提出したる案件中殘る所のは水法の制定に關すること、地方土木行政組織變更に關することに過ぎずして主任官數日に互る勞苦も聊か慰するに足ること、被存候。

模範的惡路の稱を得たる東京市内道路も、一向改良せられず矢張り市民怨嗟の的と相成居、此處彼處は遠慮會釋なしに堀鑿盛土され、權兵衛が種蒔きや烏が穿くるとの俗諺を誤りなく表現するものは市内道路の近狀に有之候、此の如き狀態なるを以て道路は交通の用に供するものに非ずして地下埋設物施設の爲に設けられたる感有之候、牧彦七博士曩に内務省より出で、道路局長の職に就き、從來の市内道路の現狀が一變するに至るならむとは吾人は勿論市民が齊しく期待し道路局の改革を歡迎したる所なるも、今尙從前の現狀を持續するを見ては博士も

亦口の人、机上の學者にして手の人に非ざりしことを責むる氣早速も有之位に御座候、併しながら今直に博士を責むるは酷にして此後尙借すに半歳を以てするに非ざれば批評するに足るべき施設も出来ざる筋合に有之、吾人は之を責むるが無理なること、存候、此く中候は、同博士の肩を持つ如くに感ずる者も可有之とは存候得共、同博士の入局以來市内道路の維持が從來の施設を一變して各所に比較的善良なる修繕工事の行はれつゝあることは市民一般の目撃する所此一事を以てするも市内道路の維持が少くとも改善の域に在ること疑はざる所に御座候、博士の説明する所に依れば、從來の道路の維持修繕は各區長の職務に委ねられ、統一されたる方針あるに非ず唯だ各區は思ふが儘に維持をなす状況にして、技術家も亦此種事業を所謂地味な仕事として研究せざるは勿論、興味を以て職に當る者なき状態なりしも、此所謂地味な仕事は實は地味なものに非ずして、道路の良否を支配する

重要事に屬し、寸時も閑却する能はざる要務なるが故に、差當り之に全力を傾注する方針を樹てたる趣に有之、曩に道路工夫の講習會を開催して、自覺なしに施設されたる修理工事の概要と、進歩したる維持の方法を教授すると同時に、修路事務の一切を區長の手より取離し道路局に移し統一して施設すること、し、更に修路に要する最新の機械を海外に求め、修理用材料置場を各所に増置して小運送業用の輕減を圖ることに力めたる結果、従前と同一の費用を以て未だ十分ならずとは言へ、舊來の維持方法を一變するに至りたるものにして、吾人は同博士の勞苦に對し感謝する所に御座候、併しながら路面改良工事に就いては今も昔と變らざる所にして、其の進工遅々たる原因が假令第三者の義務に屬する地下埋設物整理の遅延は在りとするも、之を理由として博士の責任を看過する能はざる所なるを以て緊禪一番道路の維持修繕方法に成功したると同様に改良工事に對しても從來の面目を

一新せられむことを希望して已まざる次第に御座候。

數回に互つて歐米より見舞はれたる我國飛行界も、漸くにして訪歐飛行を計畫する域に達し不日飛出す趣に有之、父は露國を統御したるも吾は國境なき天空を統御するものなり、と傲語したる飛行家小レーニンに比較せば未だ幼稚の域を脱せずと雖も、我飛行家が兎も角海外に飛行するに至りたるは、我航空事業の爲欣快に堪へざる所に御座候、彼と大に握手して彼我斯界の爲に盡さむことを望む所に御座候、空には飛行機、地には自動車の活躍する時代近からむとするの時、自動車を呪咀する聲を聞きて之を宥め、自動車交通の利便の爲に道路の改良を建議して、政府の尻を叩かざるべからざる今の世に、生を享けたる者こそ憐れに被存、此憐れなる状態より一刻も早く脱することに努力するのが吾人の責務かとも存じ諸彦の奮勵を祈り之にて擱筆致候。

敬具

◎道路の除雪どころか集雪大事のこと

所變れば品變る、浪花の華も伊勢の濱萩。と言ふことが、あるが、道路の除雪は、立派に道路維持修繕令にまで規定して之を勵行せしむることになつてゐるが、青森縣下國有鐵道五能線の開業終點であり、日本海沿岸に於ける有数の漁港もう一つは、美しい七里長濱の海水浴場を北に控へた鱒ヶ澤の町へ、五所川原町方面から行く府縣道は、重要幹線で四時入馬絡繹としてゐる。所で、冬季の運送具たる馬糧は、雪がなくては問題にならないために、わざ／＼道路に雪を掻き寄せて其の上を、鈴の音チリン／＼と進むと言ふ寸法である。それが鱒ヶ澤町の出外れの丘陵部の道路に積る雪は、日本海からモロに吹く東風（ゴチと呼ぶ程やさしいものではない）のために吹き飛ばされて生地を露出してしまふ。で、馬糧は、レールをなくした汽車電車のやうに立往生を餘儀なくせられるの苦痛を感じる。それで、其のあたりでは路傍に一二尺の柵を立てて雪たまりに便してゐる。四五寸の降雪に一日數千圓の降雪人夫賃を支出して大騒ぎする東京あたりとは、打つて變つた雪欲しやが面白

い。(十八公)